

【取組内容】①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

「単元内自由進度学習」(動画スクリーンキャストなどを活用) (その1)

【実施内容の具体】 [单元内自由進度学習]

1 「授業ガイダンス」

単元ごとに授業時間と学習内容の見通しをもたせるための「学びの地図」を示す。合わせて図で示しているスライドを使って、単元内自由進度学習の学び方のガイダンスを行う。このスライドはクラスルームに送り、生徒が必要に応じて確認できるようにしておく。

2 次の①から④の学習形態の中から、生徒が自ら選択して、学び方を決定する。予めガイダンス等の時間にそれぞれの学習形態を経験させておく。

①個別に「学習支援アプリ：学習e-ポータル」内の動画説明を活用して学習課題に取り組む。

②問題集・学習プリントを使って個別に学習する。

③担当教員とともに学習課題に取り組む。

④小グループで協働的に学び合って学習課題に取り組む。

3 選択した学習形態で、自由進度学習を行う。

生徒は、各時間の始めに学びの地図と前回までの振り返りを確認し、本時の学習形態を選択する。

4 各自、振り返りを行い、自己評価する。

單元內自由進度學習

一人一人に合わせた学習のやり方を見つけよう

★ 学習する単元の内容をどのように学習するかを自分で計画を立てて、実行し、学習します。

★ 毎時間、「学びの地図」と「振り返り」を見ながら、学習のペースを考えます。

✿ 学習方法、学習内容、学習する場所も自分で決めます。(自己決定)

★ 人に合わせるのではなく、自分自身の責任で学習をしていきます。(学びの責任)

 自分で選択した内容や方法の振り返りをし、改善していきます。(自己調整)

单元内自由進度學習

一人一人に合わせた学習のやり方を見つけよう

✳ 授業の流れ

六、五十七

- ①今日学習する内容
- ②学習するスタイル
- ③学習する場所

①学びの地図を見て、
本時の学習内容を確認
し、決定する。

②自分で計画を立てた通り、学習する。
(学習の責任)

③授業の終わり 5分前には振り返りを記入する。

④授業ノートを提出する。

单元内自由進度學習

一人一人に合わせた学習のやり方を見つけよう

タブレット
(動画視聴・問題を解く)

学習eポータルの授業動画
の視聴ができます。まず
はそこで知識を身につけ

MATHプリ
(問題を解く)

単元のはじめに配布するプリントの問題集です。単元テストや期末試験はこの問題から出します。

数学の学習
(問題集)

問題集のはじめに学習する内容がまとめられています。実践向きな人はこちらも活用してみてください。期末試験の提出物にもなります。

先生と学習する
(わからないところを学習する)

わからない内容を一緒に学習しましょう。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

江田島市立大柿中学校（広島県）【指定校】

【取組内容】①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

「単元内自由進度学習」（動画スクリーンキャストなどを活用）（その2）

【実施内容の具体】「単元内自由進度学習」

- 5 単元の中でクリアすべき、難易度を変えた演習問題にチャレンジし、その結果から自己の学力向上のための目標を設定させることで、主体的な学びに向かうように仕組む。
- 6 学習内容によっては、スクリーンキャストを用いて解を導く過程の説明を録画して提出させる。（動画説明による表現）
- 7 この録画した内容について個別に評価する。

【この実践による効果】

- 学習方法の選択時、目的意識をもって選択し、主体的に学習するようになってきた。
- ICTも必要に応じて活用でき、学習効果が上がっている。



学びの地図に計画・学習方法を記入して学習形態を決定



先生から直接学ぶ。



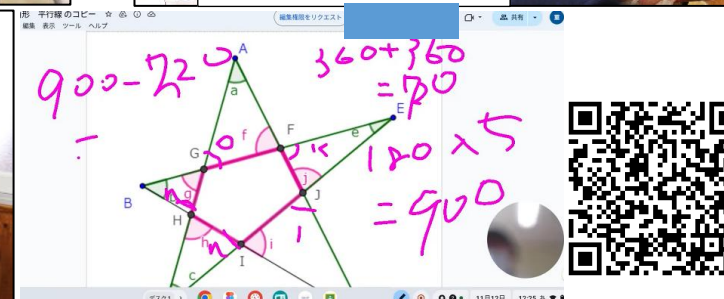
個別にクロームブックで解説動画を視聴する。



個別に問題演習を行う。



数名で協働的に学び合う。



課題解決方法の説明録画

リーディングDXスクール事業【実践事例】

江田島市立大柿中学校（広島県）【指定校】

【取組内容】② インターネット上の動画教材や、授業において動画撮影した動画の活用授業の実施

【実践内容の具体例（家庭科：衣服の手入れ）】

- 1 学習内容に関わる動画を事前に視聴し、学習内容を確認する。
- 2 衣服の手入れについて「制服」を取り上げ、自分の制服の手入れの仕方や、快適な衣生活を送る方法についての基礎的な知識・技能を学習後、各自でまとめる。
- 3 2により、自分の課題を設定する。
- 4 課題解決するため目標・手立てを決め、自分で学習計画を立て、学習を進める。
 - ①スプレッドシートに学習計画提出させる。教師は生徒の学習内容を確認し、指導・支援を行う。
 - ②自己評価（振り返り）はGoogleフォームで実施。
- 5 パフォーマンス課題に取り組む。4～5名同時進行で行い、自分のアイロンかけを録画・提出する。
- 6 生徒は録画した動画を視聴し、振り返り→改善点を見付ける。
- 7 学習進度表、自己評価（Googleフォーム）の動画によって、評価する。
- 8 自己の課題解決について、スライドにまとめ発表動画を作成。互いに視聴し合い、評価・感想を伝える。

アイロンがけの動画を投稿します。参考にしてください。

アイロンがけ
Google スライド

クラスルームに学習内容に関わる動画を投稿



アイロンかけを録画

【取り組んだことによる効果】

- 1 学習内容に関わる動画を事前に視聴することで、見通しを持ちにくい生徒も、学習の進め方を把握でき、主体的に学習に取り組むことができた。
- 2 パフォーマンス課題の評価に関しては、提出された動画により細部までその技能を評価することができた。
- 3 生徒は自分と他者の動画を視聴することで、振り返りの場面に生かすことができ、自己の改善点を見付けることができた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

江田島市立大柿中学校（広島県）【指定校】

【取組内容】④ Google site を活用したクラスHPの作成

【概要】

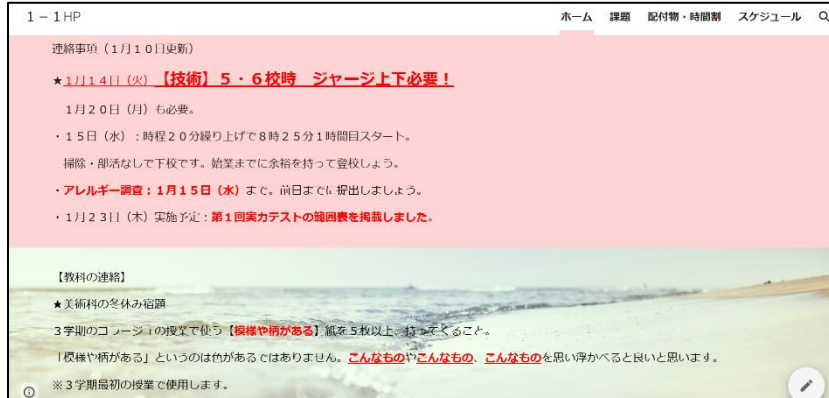
Google Siteをもとに学級HPを作成した。HPには学級内の連絡事項や配付物、日程等の情報、各授業のクラスルームや使用するアプリのリンクをまとめて掲載した。これにより生徒・保護者は場所や時間に関わらず必要な情報を簡単に確認することができるようになった。合わせて生徒が自らHPで情報を確認して動くなど、自主的な行動につながり教員・保護者・生徒いずれの負担も減った。

【使用するアプリ等】

Google Site、Googleドライブなど

【取り組んだことによる効果や今後の方向性等】

- 毎日の連絡事項を掲載することにより、生徒が教員に確認することなく、自立して行動できるようになったが、習慣化していない生徒へ働きかけが必要になっている。
- 欠席生徒への連絡が難しい場合でも、自宅から生徒が予定等を確認できるため、再度連絡する必要がなくなり、業務の効率化につながった。
- 配布物等を掲載することで、生徒が紛失した際にも、保護者から学校への確認の連絡や、再度持ち帰らせる等の業務が削減できた。
- 生徒が学習に利用するClassroomやアプリを一元化し、授業での利用がスムーズになり、効率化が図られた。
- 生徒・保護者・教員、いずれも負担が減った。
- 学級以外でも、どのような形で活用を広げるかが今後必要な取組の1つである。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

江田島市立大柿中学校（広島県）【指定校】

【取組内容】④ 校務DX「情報共有」「クラスルームで保護者も含めた情報共有」

【実施内容の具体】

- 1 朝の会で行う健康観察をクロームブックで行う。
- 2 別室登校生徒（SSR教室在籍生徒）の登校状況や、別室での活動状況などの記録を担当した教員がクロームブック内に記入し、教職員の情報共有を図る。
- 3 児童生徒のいじめ・体罰・セクハラに関するアンケートなどをクロームブックで行う。

【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 朝の会の始まる前から、生徒たちは個別に健康観察をクロームブックで行うことが習慣化し、全体の生徒の健康状態の把握と内容の集計が容易にできるようになった。
- 2 別室登校の生徒の活動状況をいつでも閲覧して確認できるようになった。このことで、関係教職員で各生徒に応じた指導について随時協議して組織的な取組につなげることができるようになった。
- 3 アンケート等の取組をクロームブックで行うことで、提出状況の把握や内容の把握を容易に行うことができ、紙媒体よりも容易に対応することができるようになった。

